



5月に同じ田中野田地区より引っ越してまいりました。まだわからないことも多く、皆様に教えていただきながらおつきあいを大切にしたいと思っています。世間はコロナ禍と大変な時期でございますが、どうぞよろしくお願い致します。

4組 小原 和也、真理子、彩那、唯花

7月に引っ越してきました宮原と申します。2歳と0歳の子供がおり、日々育児に奮闘しながら過ごしております。まだまだわからない事も多く、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、末永いお付き合いをどうぞ宜しくお願いします。

4組 宮原 浩光、^{さとこ}聡子、^{いちか}依千花、^{ほずみ}帆澄

皆様はじめまして、大塚と申します。

7月に西古松から引っ越してきました。茨城県水戸市出身の妻と1歳、3歳の娘2人の4人で暮らしています。

強いていえる趣味は旅行と食べ歩きですが、今はなかなか難しいので、家庭でできる好きなコーヒーに凝ってみようかなと思っています。少しずつ地域のことや皆様とお近づきになれば幸いです。末永くどうぞよろしくお願い致します。

4組 大塚 直人、^{しおり}愛、^{すずの}汐莉、鈴乃

9月に御南中学校の近くへ引っ越して参りました成清(なりきよ)です。

生活のしやすい便利な地域に暮らし始め数ヶ月が経ちました。公園がとてもキレイに管理されていて、3歳の娘も楽しく遊んでいます。騒がしく、ご迷惑をお掛けすることもあると思いますがよろしくお願い致します。

8組 成清 圭祐、あや、さくら(3歳)

雑記帳

三人言いて虎をなす



人の噂がいかにかに恐ろしいかを表わすとえて、「戦国策」の話に基づくものだ。

戦国時代、魏(ぎ)の龐葱(そうほう)と言う臣下が、太子に付き従って、趙(ちょう)の都の邯鄲(かんたん)へ人質として送られることになり、龐葱(そうほう)は主君の恵王に別れの挨拶にいった。

「ところで王、今もし、誰かが『市場に虎が出た』と申したら、王はお信じになりましょうか。」「信じない。」「ではもうひとり『市場に虎が出た』と申したら、お信じになりましょうか。」「ひょっとすると、気になるだろうな。」

「更に一人『市場に虎が出た』と申したら如何なさいます。」「信じてしまうだろう。」

「そこです、王。そもそも市場に虎が出るなど、あるはずのないこと。にもかかわらず、三人が騒げば虎が出たことになってしまうのです。私はこれから、趙(ちょう)の都の邯鄲(かんたん)へ参りますが、邯鄲(かんたん)は市場などよりはるかに遠く、また、我が国の臣下のなかには、私を快く思っていないものが、三人どころではありません。そのもの達が私について、きっと、虎が出た式の噂を振りまくことでしょうが、王、このことをよく心得おき下さいませよう。」「わかった。噂などにはまどわされない。必ず自分で確かめることにするぞ。」

しかし恵王の約束はあっさり崩れた。龐葱(そうほう)がまだ邯鄲(かんたん)に行き着かぬうちに、早くも魏(ぎ)では、いわれのない告げ口をするものが現れ、後に龐葱(そうほう)が帰国したときには、もはや恵王に目通しも許されなかったという。

人の噂は恐ろしい、根も葉もないことでも、多くの人が真顔で話せば、事実になされてしまいかねない。という教えである。

今年は寅年であることからこの話を思いついたが、SNSを使って誹謗中傷されたり、あらぬ疑いをかけられて学校や職場を追われる事案が後を絶たない。最悪、自死を選ばざるを得ないほど追い詰められたりする。

紀元前の遙か昔の物語だが、時代は変わっても人間の本質を変わず、同じようなことが起きている。むしろ、昔よりももっとひどい状況なのかもしれない。(ひとり言)